

# 製品安全データシート

作成:2012/04/25

改訂:2023/12/08

確認:2023/12/08

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	HISCL NT-proBNP 試薬 【HISCL NT-proBNP R1 試薬、HISCL NT-proBNP R2 試薬、HISCL NT-proBNP R3 試薬】 以下それぞれ R1 試薬、R2試薬、R3試薬と呼称
推奨用途	臨床検査用途
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 5 番 1 号 TEL : (078) 265-0500
緊急連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台 4 丁目 4 番地の 4 TEL : (078) 991-1911 FAX : (078) 991-1917

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない
GHS ラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
他の危険有害性	なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化管法、毒物・劇物には該当しない。

### 危険有害成分

本品の R1~R3 にはイソチアズリン系の混合物(CAS : 2634-33-5) を 0.1%未満含有しますが基準濃度以下のため、危険有害性 皮膚感作性 区分 1 に該当しません。

化学名又は一般名 濃度(範囲)

【R1 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲
EDTA2 ナトリウム	6381-92-6	(2)-1265	既存化学物質	<0.5%
塩化ナトリウム	7647-14-5	(1)-236	既存化学物質	<1.0%
イソチアゾリン系化合物の混合物	2634-33-5	(9)-1845	既存化学物質	<0.1%
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1)-410	既存化学物質	<0.5%
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロテトラシロキサン	540-97-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

【R2 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲
酸化鉄	1309-38-2	(1)-357	既存化学物質	<0.5%
塩化ナトリウム	7647-14-5	(1)-236	既存化学物質	<1.0%
塩化マグネシウム六水塩	7791-18-6	(1)-233	既存化学物質	<0.1%
0.1M 塩化亜鉛溶液	7646-85-7	(1)-264	既存化学物質	<0.1%
塩化カルシウム二水塩	10035-04-8	(1)-176	既存化学物質	<0.1%
イソチアゾリン系化合物の混合物	2634-33-5	(9)-1845	既存化学物質	<0.1%
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1)-410	既存化学物質	<0.5%
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロテトラシロキサン	540-97-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

【R3 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲
塩化ナトリウム	7647-14-5	(1)-236	既存化学物質	<1.0%
塩化マグネシウム六水塩	7791-18-6	(1)-233	既存化学物質	<0.1%
0.1M 塩化亜鉛溶液	7646-85-7	(1)-264	既存化学物質	<0.1%
塩化カルシウム二水塩	10035-04-8	(1)-176	既存化学物質	<0.1%
イソチアゾリン系化合物の混合物	2634-33-5	(9)-1845	既存化学物質	<0.1%
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1)-410	既存化学物質	<0.5%
オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

デカメチルシクロペンタシロキサン	541-02-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロテトラシロキサン	540-97-6	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

#### 4. 応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲込んだ場合	口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着

## 二次災害の防止策

させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。  
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。  
漏出物の上をむやみに歩かない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策

正しく測定するために添付文書をお読みください。

安全取扱注意事項

情報なし

接触回避

情報なし

衛生対策

情報なし

### 保管

安全な保管条件

2～8℃で保管する。

安全な容器包装材料

情報なし

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

情報なし

許容濃度

日本産業衛生学会

水酸化ナトリウム：【最大許容濃度】2mg/m<sup>3</sup>

ACGIH:

水酸化ナトリウム、0.1M 塩化亜鉛溶液：設定あり  
ACGIH の設定値は下記 URL からご確認ください。

参照先：<https://www.acgih.org/>

設備対策

特に必要ない

保護具

呼吸用保護具

特に必要ない。

手の保護具

保護手袋

眼、顔面の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

	R1	R2	R3
物理状態	液体	液体（懸濁）	液体
色	無色～淡黄色	褐色	無色～淡黄色
臭い	無臭	無臭	無臭
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし	データなし	データなし
可燃性	データなし	データなし	データなし

爆発下限界及び爆発 上限界/可燃限界	データなし	データなし	データなし
引火点	データなし	データなし	データなし
自然発火点	データなし	データなし	データなし
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	6.5	6.5	6.5
n-オクタノール/水 分配係数 (log 値)	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び/又は相対 密度	約 1.0	約 1.0	約 1.0
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特製	データなし	データなし	データなし
その他データ(放射 性、かさ密度、燃焼持 続性)	データなし	データなし	データなし

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取り扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

#### 11. 有害性情報

急性毒性	情報なし：GHS 分類：分類できない
皮膚腐食性/刺激性	情報なし：GHS 分類：分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし：GHS 分類：分類できない
呼吸器感受性又は皮膚感受性	情報なし：GHS 分類：分類できない
生殖細胞変異原性	情報なし：GHS 分類：分類できない
発がん性	情報なし：GHS 分類：分類できない
生殖毒性	情報なし：GHS 分類：分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし：GHS 分類：分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし：GHS 分類：分類できない
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

#### 12. 環境影響情報

生態毒性	区分に該当しないが毒性未知成分を含有しているため分類できない。
------	---------------------------------

残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

### 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	水質汚濁防止法当の規制及び各都道府県の条例等に留意して処理してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
---	---

### 14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則 (ICAO/IATA)	該当しない
国際海上危険物規則	該当しない
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては、転倒落下、損傷を来さず、横倒しないよう積み込み、荷崩れを防止してください。

### 15. 適用法令

適用法令	
薬機法	体外診断用医薬品
労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
化審法	非該当
消防法	非該当
大気汚染防止法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
水道法	非該当
下水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	非該当

---

## 16. その他の情報

---

### 一般的注意

ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

### その他の情報

[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

### 略語、頭文字の意味/凡例

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

安衛法：労働安全衛生法

薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

PTRR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

---